

読書のすすめ

寒冷の候、皆様方にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。平素は本校教育にご理解ご協力をいただきまして誠にありがとうございます。

さて、この度、校長戦略予算を使って「読書通帳」のシステムを導入しました。「読書通帳」というのは、児童一人一人に銀行通帳の様な通帳を作成し、本校の図書館で貸りて読んだ記録をATMのようなプリンターで「読書通帳」に記録していくものです。

本校では読書に興味をもっと持ってほしい、本に親しむ子になってほしいと考えています。八尾市等では公共図書館に導入されていますが、まだ学校には導入されていません。大阪市内での導入も本校と豊仁小学校のみにあります。

そこで2つお願いがあるのですが、一つは、家庭でも読書の習慣がつくように時間と場所の確保をお願いします。二つ目に、児童が本を読んでいないのに「読んだ」と言って、記録だけを増やすということを考える児童もいるかもしれません。そのようなことのないようにご家庭で本を読んだかどうか、それとなく確かめていただき、指導をお願いします。たとえ30分でも、ゲームをせずに静かに読書をする習慣をつけるためご協力よろしくお願いします。

読書で鍛えられる力

1. 語彙（ボキャブラリー）が増え、言語力が高まる。
2. ストレスが解消される。
3. 想像力が磨かれる。（前頭葉が活性化）
4. コミュニケーション力（言葉で考える力や言葉で表現する力）が付く。
5. 仕事や日常のヒントになり、発想が豊かになる。
6. 情緒豊かになる。豊かな心が身につく。
7. 視野が広まり、教養が磨かれる。
8. 読解力が付き、全国学力・学習状況調査等の長文の問題も理解しやすくなる。
9. 知識が増える。
10. メタ認知が高まる。（物事を関連付けて考える力が付く）
11. 英語の力も伸びやすくなる。
12. そして、学力が付く。（週に2～3冊読書する子は、まったく読書をしない子と比べると、国語や算数の点数が10点程度違うといわれています）